

一般質問

災害時の対応について

災害時においてより効果的な対応を！

質問 ①道路冠水に対し通行規制の対策はあるか。②津波に対する市民の意識向上の課題と対策はあるか。③水道が断水した場合、一般利用の井戸を防災井戸として活用する考えはあるか。

答弁 ①職員によるパトロール、住民からの情報提供により、冠水状況を確認し、警察や道路管理者が車両の通行規制が必要であると判断した場合に実施している。冠水などの情報提供や家屋への浸水を防ぐための自己防衛等の初期対応について、町会や地域住民の協力をお願いしたい。②発表された注意報は、屋外スピーカーや防災ラジオ、インフォメーションなおで情報をお知らせしているが、災害に対する市民の方々の意識は高くなっていると認識している。能登総合病院は災害時の医療活動において中心的な役割を担う災害拠点病院であることから、緊急避難場所や避難所として指定していない。津波浸水区域や一時避難場所への避難経路についてハザードマップで確認をしていただき、津波注意報などが発令された場合には冷静な判断で行動していただきたい。③防災井戸については、大規模災害等において、トイレや洗濯などの生活用水として井戸水を利用することができるか、先進事例なども参考に研究したいと考えている。

- 【その他の質問項目】
- 災害への備えについて
- 能登総合病院の経営について



山崎 智之 議員 (灘会)



伊藤 厚子 議員 (無会派)



一般質問

音声コードの導入

音声コード導入の推進を！

質問 何らかの事情で文字が見えない、見えにくい、読みにくい、また日本語が読めない方々のために音声コードを導入し、行政全体の出版物についてバリアフリー化を推進していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

答弁 音声コードにはSPコードとユニボイスの2種類があり、障害者福祉マップにSPコードを導入している。ただし専用の読み取り機器が必要となり、対してユニボイスは、スマートフォンで読み取ることができる。本市において機器購入助成制度があり、文字を音声読み上げする機器購入が対象である。非課税世帯は全額給付で自己負担無し、課税世帯は1割自己負担で購入できる。音声コードが普及しない理由として、表やグラフは音声化できないことや、視覚障害者にとって利便性が少ないと考えられる。障害者福祉マップにSPコードを導入しているが、行政全体の文書バリアフリー化の推進については、どのような手法が実際に役に立つかを、七尾市視覚障害者協会などの関係機関と話し合いを深め進めていきたいと考えている。

- 【その他の質問項目】
- 防災減災について
- 要援護者への支援体制
- 高齢者の運転の安全対策
- SDGsの取り組み

一般質問

豪雨災害の対処マニュアル

排水ポンプ車の導入と排水路整備計画を！

質問 袖ヶ江地区はゼロメートル地帯であり、全面的に真っ先に冠水被害が発生をする地域であり、排水ポンプ車の増車計画はあるか。排水路の整備計画はあるか。

答弁 袖ヶ江地区には、排水ポンプ場2カ所、神戸川に排水ポンプ室5カ所を設置して対応している。

排水路の整備については、平成26年度から28年度に調査を行った結果、神戸川、毒見殿川では排水ポンプと排水路整備で約23億円を要するという対策案も示され、余りにも多額な費用と時間がかかるということで、市として現実的、即応性の高い対策をしっかりとっていきたいという思いであり、平成30年度に移動式排水ポンプ車を1台購入した。去る8月22日の豪雨時、矢田新地区の局所的な浸水箇所が稼働させ、道路冠水が早期に解消され、一定の効果が出たというふうな受けとめている。市街地の冠水対策を踏まえると、移動式排水ポンプ車1台では十分には機能しないという思いであり、引き続き増車について検討していきたい。

- 【その他の質問項目】
- 七尾大田火力発電所と志賀原発
- 「灘」地区に政治的、負の遺産を残すな
- 催しや行事への出席について
- 個人情報保護について



杉本 忠一 議員 (無会派)



排水ポンプ車